



**イマジン  
ロータリー**



# 茂原中央ロータリークラブ 会報



**会長 武田大輔**



**幹事 飛留間和紀**

クラブ創立 1993.1.12  
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30  
 例会場 茂原卸団地組合会館  
 事務局 TEL 0475-26-1515  
 FAX 0475-26-1516  
 Email [mobarach.rc@gmail.com](mailto:mobarach.rc@gmail.com)  
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長
- ★ RID2790 小倉 純夫 ガバナー
- ★ 第7グループ 平野 一隆 ガバナー補佐

第31巻 通巻第1330号 第13号 例会通回第1335回

★クラブ会報委員長 片岡 太 ★副委員長 横堀 喜一郎

**本日の例会プログラム**  
**令和4年11月8日**  
**(ロータリー財団月間)**

点 鐘 武田 大輔 会長  
 ソ ン グ 奉仕の理想

会長挨拶 武田 大輔 会長  
 幹事報告 飛留間和紀 幹事

委員会報告  
 ニコニコ

\*\*\*「ロータリーの友」勉強会\*\*\*

出席報告 担当委員会



「Every Rotarian Every Year」  
 クラブ  
 《 認証バナー 》



100%ロータリー財団寄付  
 クラブ  
 《 認証バナー 》

11月1日例会 (竹りん)



**地区大会  
 表彰**  
 (2021-22年度  
 クラブ表彰)



**2021-22年度  
 ロータリー賞**  
 《 RI 賞状 》

**会長挨拶 武田 大輔 会長**

皆さん、こんにちは。先週の3クラブゴルフコンペに参加された方、大変お疲れ様でした。何度も3クラブのゴルフに参加させて貰っていますが、皆さんご存知のとおり空港さんと大網さんも年齢も全然違うんですけど纏まって楽しくできたなと感じました。次回は茂原中央が幹事ということで、親睦委員長の正林会員にご相談させていただきました。気持ち良く考えていただき非常にいい会だなと凄く感じました。私のスコアはいまいちでしたが準優勝することができました。スコアだけで言うと中央の皆さんは結構良かったのではないかと考えています。特に小沢さんは凄く良く、中村健太会員も途中までトップになっちゃうんじゃないかなというくらいいいプレイだったみたいで大変楽しく良かったです。

来週ですが、前回の時からお話ししてたとおり、西那須野ロータリークラブさんからの

誘いで、ご一緒させてもらいながら私と姉妹クラブ委員長、副委員長と村田会員で桃園の61周年に参加してきたいと思います。火曜日例会は欠席させていただきますが、杉江エレクトに挨拶を頼んであります。楽しく貴重な挨拶をしてくれると思います。会長挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告 居村 龍二郎 副幹事(代行)



### ●地区 (回覧)

- ① 研修系3委員会より、新春講演会(2023年1月14日(土)開催)のご案内  
日時:2023年1月14日(土) 13:30受付開始 14:00点鐘 16:00閉会予定  
場所:TKP ガーデンシティ千葉
- ② ローターリー財団統括委員会より、  
・地区ポリオデーのご報告  
・地区大会寄付についてのご報告とアンケートの依頼
- ③ 国際ロータリー日本事務局 | クラブ・地区支援室より、地区・クラブ ウェブサイトのロゴの使用方法のご確認のお願い
- ④ 国際ロータリー日本事務局 財団室より、財団室NEWS 2022年11月号
- ⑤ 米山記念奨学委員会より、米山特別寄付についてご報告
- ⑥ 地区災害対策特別委員会より、青森県大雨災害支援 御礼とご報告
- ⑦ RYLA委員会より、第46回RYLAセミナー開催のご案内及びご参加のお願い  
日時:2023年2月18日(土)~19日(日) 1泊2日  
場所:南房総・岩井海岸 網元の宿 甚五郎 申し込み締切12月23日(金)迄
- ⑧ 平野一隆ガバナー補佐より、第7グループロータリー情報研修会開催のご案内  
日時:2022年11月29日(火)  
受付開始 13:15  
点鐘13:45 終了16:40(予定)  
会場:九十九里ヴィラそとぼう 申し込み締切11月18日(金)迄
- ⑨ ローターリーの友 11月号、ガバナー月信 11月号について ※例会会場BOXに入れてあります
- 例会案内 (回覧)  
特になし
- 会報受信 (回覧)  
特になし
- その他 (回覧)  
特になし

## 理事会報告

### 議題

1. 11月・12月例会内容の確認
  - ・12/6 クラブ協議会(次年度地区補助金事業について)
  - ・12/13 年次総会
  - ・12/20 家族親睦忘年例会 18時点鐘 昼 親睦ゴルフ
  - ・1/10 餅つき
2. 2023-24年度地区委員推薦について (11月18日迄) →横堀喜一郎会員を推薦
3. 社会奉仕活動事業「クリスマスケーキ贈呈」について
  - ・日程等→12月24日(土)
4. 今年度補助金事業について
  - ・長生村・一宮町・白子町に志田会員が対応していただける
5. その他
  - ・11月18日大多喜RC主催チャリティゴルフ参加について
  - ・10月25日(火)夜間移動例会会計報告 →承認
  - ・2023-24年度ガバナー公式訪問の単独または合同の調査について

## 委員会報告



### 親睦活動委員会

正林 宏平 親睦委員長

皆さん、こんにちは。先日の3クラブゴルフコンペにご参加いただいた方はお疲れ様でございました。次回の合同3クラブゴルフコンペは当クラブが幹事クラブということで、2月6日に決定いたしました。南茂原カントリークラブを予約しておりますので追って皆様にはご連絡を申し、12月20日(火)の忘年例会においては昼間のゴルフをご案内できるようにいたしますのでご参加の方よろしくお願いたします。



### 創立30周年記念事業 実行委員会

小沢 恒夫 実行委員長

皆さん、こんにちは。先程、会長からもお話があったように11月6日から

台湾の桃園ロータリークラブ創立 61 周年記念式典に僕と武田会長と今井姉妹クラブ委員長と村田直前会長の 4 名で行ってきます。先日も少しお話ししたんですけども、桃園ロータリークラブの子クラブの桃園東ロータリークラブが非常に前向きに当クラブとの姉妹クラブを考えていただいているということです。状況を把握して皆さんに持ち帰って協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

11 月 22 日に報告を行いたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 会員卓話

### 「ロータリークラブ寄付金」の説明



ロータリー財団委員会  
横堀 喜一郎 委員長

こんにちは。ロータリー委員長の横堀です。

今日は武田会長からお話があり、我々がした寄付金がどういう所で生きているのか、どういうふうに使われているのか、というのを皆さんに理解していただくということで今日の卓話をさせていただく次第です。私の理解が完璧ではないので、ベテラン会員の方には違っているようであればご指摘をお願いいたします。

お手元に A4 横の紙をお配りいたしました。ざっくりこの 3 種類がロータリーの寄付金です。左から「ロータリー財団」、「米山」、「その他寄付金」になっていますが、メインは「ロータリー財団」で大きな内容になります。この説明の前に、「米山」と「その他寄付金」について簡単に説明をしたいと思ひます。

「米山基金」というのに、我々は会費を払った時点で寄付をしているという内容になります。この「米山基金」というのは日本に海外の留学生を招くための基金で、日本だけで行っている基金です。今年 3 月まではベトナムのヒエンさんがおられて、その前は中国から来られて千葉大で勉強されていたアリキンさんもおられました。海外から日本に優秀な学生さんを招いて親日的な学生になって、その国でまた日本のいいところを宣伝してもらおう。宣伝してもらおうというのは言葉に語弊がありますが、リーダーとなる人に親日的になってもらって日本との友好関係を築くことをやってもらいたいというのがこの米山の留学生の考え方でありまして、これは日本で毎年 13 億とかを集めてまして、一人留学生に毎月 10 万円が奨学金となっています。

殆どがこの寄付金が留学生支援に回っているという状況なんで本当に毎年多くの留学生にこのお金がいきわたって勉強してもらっているというのが米山です。

ガバナー補佐の平野さんが来て「もうちょっと米山にプラスで追加でお願いできませんでしょうか」というような話がありましたが、それも大事なことかと思ひますけれども、皆さんの大切なお金ですので、そういうご意見があったということで皆さん頭に止めていただければと思ひます。

「その他寄付金」はそれぞれ寄付の趣旨に基づき、そのために使われています。

最後に「ロータリー財団」ですが、このロータリー財団というのはロータリー本部とは別組織になっています。財団が持っているお金が我々の地区補助金とかに使われるお金やまたは、ポリオプラスとか様々なロータリー財団への寄付金として 1 から 5 まで書かさせていただきましたけれども、ロータリーの活動、しかも全世界のロータリークラブの活動の資金になっているのが、このロータリー財団になります。金額ですが、2790 地区では 150 米ドルを目標にしてくださいと言われております。

・年次寄付金は地区財団活動資金と国際財団活動資金に二分される。

これは毎年の年次寄付金で皆さんに昨年は 12,000 円位いただいてましたけれども、そのトータルしたものの 1 年分。3 年前のものから活動資金に分配させています。それはほぼ半分ずつ、正確に言うと 47.5% ずつで残り 5% は運営のための資金に回されているんですけど、3 年前の半分ずつがこの地区の活動と国際的な活動に分けられる。

・地区財団活動資金は地区補助金とグローバル補助金に二分される。

ざっくり言うと 50% のうちの 25% ずつが地区補助金とグローバル補助金に分けられる。我々が 3 年前に払った金額の 4 分の 1 が地区補助金として使うことができるというのがこの論法になるんですけど、実際は、

・2790 地区では IRC 当り年間上限 30 万円の地区補助金を支給。

上限 30 万円を地区からいただいて様々な事業をしています。

今年度で言えば長生郡市 3 つの町村に発電機を 3 台。その前も同様でした。

また来年については 30 周年事業に合わせて、この 30 万円を使って活動を考えています。地区内でこの補助金を使うところがそんなにない。という状況で 30 万円をもらっているというのが実態でございます。

他のクラブが全部申請されると目減りしてしまうということで先程の 150 ドルという話に戻っていくんですけども、そういう意味で今使っているのが 3 年前のお金をシェアする

というようにロータリー財団の中では言いません。負担したお金をシェアした分を地区活動に回してもらって、更に地区補助金が我々がやっていることなんですけれど、大綱さんはグローバル補助金、スリランカに小学校を作ったりスリランカにきれいな水を掘る井戸の施設を作ったり、海外への活動をするのがグローバル補助金と言っています。

国外でいいことをしようという時には、このグローバル補助金が使えます。そのために我々年次寄付金をやる意味があるというふうに分かってもらいたいと思います。更にそういう事業をするだけではなくて、先程米山で言いましたけれど、米山は海外から大学生を招くそのための基金ですよ。

4行目にあります

・日本人大学生の海外留学支援制度あり。

日本の大学生を我々の子ども達を海外に送り応援する制度がこのロータリー財団の大学生の交換留学生で大学生を海外に送る支援制度があります。海外の大学または大学院に1年ないし2年子ども達を送れます。これは当然クラブの例えば、この茂原中央のエリアの中で海外に行きたいと手を挙げる学生がいたら、多分私が面接して報告書を書いて県の中で選考するというのがあるんですけれども、そういうように我々自分達の子どもの、または関係者の若い人を海外に送って優秀な人間になってもらうという奨学制度のための資金でもある。という意味でこのロータリー財団のお金が使われているということをご皆さんに分かっていただきたいところです。

ただ皆さんご存知のようにこれだけ円が安くなって、今年度いくらお願いしたらいいのかということで、先日の理事会でご了解いただきポリオプラスも含めてお願いするような形になっているというのが現状でございます。そういう意味で皆さんからいただいたお金が世界を良くする。また日本の学生を良くする。余談なんですけど、こちらには若い会員がたくさんおられて、まだお子さんが小学校中学校大きくても高校ぐらいかなと思います。是非ロータリーを使って自分達の子どもの海外に送って鍛えていただきたいと思います。

そのチャンスにしてもらいたいというのが私のここでのお願いしたい部分です。

自分の子どもを海外に送って代わりに海外からの子どもを引き受けるという。ある意味ギブアンドテイクですけれども、この中で実際にやられた最後の年代が林さんなんですけど、林さんのお嬢さん海外に行って帰ってきて凄く変わったと言う話がありますので、林さんに良かったこと大変だったこと等についてご報告いただきたいと思います。

「青少年交換留学」を体験して



林 久剛 会員

こんにちは。実はもう20年近く経っています。

青少年交換は短期と長期と二つあるんですけれども、うちの娘は長期で1年間お世話になりました。私のところと岡さんのところと今井さんのところで4カ月ずつお預かりしました。これはクラブとクラブの交換なんです。ですから中央から行って向こうで日本に来たい子がいると駒を合わせる必要があります。先方の行っている高校とこちらの高校と高校同士のレベルも合わせなくてはいけない。ですので役員の方は大変なんですけれども、子どもにしてみれば凄く夢の国だと思うんですよね。

日本の学校に合わせると高校3年生で8月よりあとの誕生日の人が高校3年で行けます。高校2年生だったら間違えなく行けます。大体向こうは9月から始まって7月までですから高校3年生で行くと同級生が卒業して7月に帰って来るというようなイメージですから、大学を狙っているような方は1年駄目なんですけど、2年生で行けば成績さえ合致すれば日本の学校を卒業した単位がもらえるので2年生の時に出発すると同級生と一緒に卒業できる。だけど17歳で行くようになりますので、どうしても18で行かせた方が向こうの経験はいいかもしれません。日本に帰ってきて一浪になってしまうということがあります。

こちらに来たのはマングリオ君という男の子だったんですけれども体格が良くて凄く頭のいい子でした。その子は飛び級で17で卒業してるんですけど、日本の交換相手がないで一浪しちゃった人です。それでギリギリ17歳で交換が成立してメキシコから来ました。スペイン語圏です。英語圏で英語を使える国というのは競争率が高いんです。早い時期からトライすれば行かれるかも知れない。うちの娘もそういうことで英語圏には行かれなかったんですけど、メキシコでスペイン語圏です。スペイン語はもう世界中で使われています。人数的には中国より多いかもしれない。日本語とかフランス語とは1億人しか使っていないんですけどスペイン語は20億人使っているのかな。そういうところも良かったのではないかなと思っています。マングリオ君は最初は僕のところに居て次に今井さんのところに居て卒業の時には岡さんのところにいました。岡さんの家に行く頃にはもう日本人ですね。

大きな岡さんの家で友達も沢山集まって遊んでいた話はよく聞きます。帰る時も友達がたくさん見送りに来たりして凄かったんです。いまだに誕生日になるとメールが来たりして、行ったり来たりしています。彼は医者の子でも一人っ子だったんですが、差別を受けるということでメキシコが嫌いということで日本に来たがっていたんです。今はノルウェーに行っています。子どももいて写真も送ってきてくれて、いまだにお付き合いをしています。コロナが落ちたらまた来たらもうかと思っっています。皆さんの中でも18歳以下の子どもさんがいらっしゃれば是非トライさせるのもいいかもしれないですね。

**横堀 喜一郎 委員長**

どうも林さん貴重な体験談ありがとうございます。是非皆さん寄付を払うばかりではなくて、自分の子どもを教育するいい機会としてこのロータリーを使っていただき、また皆さん自身もその国際的なお付き合いをすることによって人間的な繋がりまたはその成長になればいいのかなというふうに思っています。ご清聴ありがとうございます。



**出席報告**

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
11/01	27	18	4	5	1	84.61
10/11	27	19	2	7	2	84.00

11月・12月 行事予定	
11/08 (火)	通常例会 ロータリーの友勉強会
11/15 (火)	通常例会 外部卓話：茂原警察署長 様
11/22 (火)	通常例会 報告会「桃園ロータリークラブ創立 61 周年記念式典に参加して」
11/29 (火)	休会 (定款適用)
12/06 (火)	理事会 11 時 30 分・移動例会「竹りん」 誕生祝 4 名 (川島会員・横堀会員・片岡会員・居村会員) クラブ協議会「地区補助金事業について」
12/13 (火)	年次総会
12/20 (火)	家族親睦忘年会
12/27 (火)	休会 (定款適用)

**ロータリー財団月間**

**ロータリー財団月間**

(The Rotary Foundation Month)

1964-65 年度 RI 理事会と管理委員会は、毎年 11 月 15 日を含む 1 週間をロータリー財団週間とすることに定めた。

その後 1983~'84 年度に、11 月をロータリー財団月間と定めた。

財団の奨学金事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施する月間である。

RI 理事会指定の 10 の月間の 1 つ。

(用語便覧 2008)

**財団の使命**

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです



地域社会を何よりも大切にするロータリー。各地域の特別なニーズに応える活動が実施されています。ロータリー会員は、世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズは何かを考え、長期的な変化をもたらすために、特に以下の 6 つの分野に重点を置いて活動しています。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

— 地区スローガン —

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」

2022 年 11 月

国際ロータリー第 2790 地区  
2022-23 年度 ガバナー  
小倉 純夫 (松戸 RC)

### ロータリー財団は、26 ドル 50 セントから始まった？！

今月は、ロータリー財団月間です。皆さんは、ロータリー財団が 26.5 ドルから始まったことをご存じでしょうか。1914 年、第 1 次世界大戦が勃発し欧州での戦争にアメリカ軍も参戦することになって、アメリカの人々は、戦地に出向いて戦傷者を見舞い、慰問し、激励に行きたいと考えました。しかし当時は、船で出向かなければならなかったため、長い航海の時間と大変な旅費がかかりました。そこで、1917 年国際ロータリー会長に就任した、アーチ C. クランフは、アトランタで開催された大会で、第 1 次世界大戦のような事態が再び起きた場合、ロータリーとして提供できる基金を全ロータリアンの協力を得て作る必要があると構想し、提案しました。しかし、この提案は全く賛同を得ることが出来ませんでした。そこで、次年度大会開催予定地のカンザスシティのロータリアン達が、何とか会長の面目を立てるために、手許にあった 26 ドル 50 セントを寄託しました。当時のロータリアンは、ロータリーの原理派（ロータリーは個人の奉仕との考え）が多く、クランフ会長が提案している国際理解と親善のための基金を集めて行動を起こすことは出来ない、というものでした。

当時、ポール・ハリスは、この基金の構想は、原理的には問題があるものの、奉仕の実践は個々のロータリアンに委ねられるものであると考え、これを 1927 年 RI 理事会にて提案し、この基金を発展させ、公益信託制度を活用することとして、1931 年正式にロータリー財団が認められることになりました。RI はその後、この基金の拡大を図ろうとしましたが、効果は上がりませんでした。

1947 年ポール・ハリスは亡くなりました。生前、ポール・ハリスは、再び世界大戦を起こしてはならない、ロータリーはそのために何をすべきか、次世代の若者達に外国で学ぶ機会を与え、相互理解と親善のための制度を創らなければと周囲の人々に語っていたとのことです。

そこで、多くのロータリアンは、彼の死を悼み、ロータリーの創始者の遺志を継承するために、新世代の育成のための財団基金の拡大を図ることで、その遺志に報いようと全ロータリアンに 1 人あたり 10 ドルの寄付を呼びかけたところ、ロータリー財団に多額の寄付が寄せられました。そして、1948 年、ロータリー財団は、18 件の財団奨学金を授与することができ、ここに国際親善奨学金が始まったのです。

そして、1956 年 RI 理事会は、毎年 11 月に「ロータリー財団週間」を設けることとして、財団への寄付を呼びかけ、さらに 1982 年に 11 月を「ロータリー財団月間」と改めました。

その後ロータリー財団は、発展・強化され、そのプログラムは、平和フォーラム、グローバル補助金、地区補助金、ポリオプラス、平和フェローに引継がれ、今日に至っています。

最後に、アーチ C. クランフは、「金だけでは大したことは出来ない。個人の奉仕は金がなければ無力である。この 2 つが組み合わせれば、文明への天の恵みになることが出来る」と語ったとのことです。（「デイビッド C. フォワード著『奉仕の 1 世紀』）

皆さん、地域で、そして世界で良いことをしましょう！！

(国際ロータリー第 2790 地区 公式ホームページより ガバナーメッセージ)